

日越農業協力中長期ビジョン（2015年8月策定）の改訂について

1. 中長期ビジョンの概要

- 「日越農業協力中長期ビジョン」は、フードバリューチェーンの構築に向け、モデル地域における5年間（2015年～2019年）の官民の行動計画等を記載。
- 中長期ビジョンは、モデル地域における取組の進展等に伴い適宜更新することとしており、その内容について、日越農業協力対話にて確認することとなっている。

2. 主な行動計画（2015年～2019年）（※2018年4月の改訂内容反映済み（赤字箇所））

① 生産性・付加価値の向上

■モデル地域（ゲアン省）

- ・ 老朽化した灌漑施設の改修、安全野菜の生産体制の構築等により、農業生産性・付加価値を向上
- ・ 農業機械化や高品質飼料作物の生産等を進展

■全国的な取組

- ・ UPOV91年条約に基づく植物品種保護体制の整備
- ・ 日本からの水産政策アドバイザーの派遣 等

② 食品加工・商品開発

■モデル地域（ラムドン省）

- ・ 国内外の需要に応じた高付加価値の農作物の生産
- ・ 食品加工施設や集出荷選別貯蔵施設の設置
- ・ 主要作物のブランディングやアグリツーリズムのプロモーション活動の支援 等

③ 流通改善・コールドチェーン

■モデル地域（ハノイ・ホーチミン等大都市近郊）

- ・ 冷蔵・冷凍倉庫の建設や低温流通体制構築に向けた民間投資の促進
- ・ 農産物・食品の規格・認証に係る日越共同調査の実施 等

④ 分野横断的な取組

■気候変動への配慮（①農業分野）

- ・ 塩水遡上を抑制するためのインフラ整備の実施

■気候変動への配慮（②森林分野）

- ・ 流域保全林の造林、地域住民の森林管理能力の強化

■高度人材の育成（カントー大学等）

- ・ 寄付講座を開設し、日本の食関連企業から講師を派遣 等

